

ここが聞きたい

一般質問

あなたの生活に結びつく話題はありますか？

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が市政全般に関わるさまざまなテーマについて市の方針や市長の考え等を問いたです場です。

平成30年6月定例会では11人の議員が一般質問を行いました。

(本文は質問者自身の原稿によるものです。)

質問者(質問順)

- 篠原 敏宏
- 小澤 彰一
- 柴田 博
- 中村 努
- 西條 富雄
- 丸山 寿子
- 山口 恵子
- 古畑 秀夫
- 村田 茂之
- 牧野 直樹
- 平間 正治

質問者のすべての質問事項はホームページで確認できます。



地場産センター、原点に戻るべし



市政同志会2015
しのはら としひろ
篠原 敏宏

その他の質問事項

- ▼ 観光戦略について
- ▼ 中山間地の振興対策について

◆地場産センター本来の存在意義は

問 塩尻・木曾地域地場産業振興センターの本来的な意義は何か。

答 地場産業に関する需要開拓、後継者・人材育成、新商品開発、各種調査並びに情報の収集と提供という同センター定款に定める四事業である。

問 市は同センターに収益性を求めすぎではないか。

答 センターにとって収益事業も事業の柱だ。文化財修復事業も含め、しっかりと収益を確保していくべきと考える。

問 市は漆器産業をどう評価し、将来的にどうしようと考えているか。

答 木曾漆器は現在苦境にあるが、四百年以上の歴史を誇り地域を支えてきた。ここで絶やすことはできないし、塩尻ブランドの観点からも伝統ある地場産業を支えていく。

◆作業所閉所は障がい者福祉プランに逆行

問 市障がい者福祉プランからは施設ケアから地域ケアへというコンセプトとそれによる在宅対策の充実志向が読み取れる。一方で、そういうケアを目指していた障がい者福祉川共同作業所が市の都合で実質閉所になった。日中一時支援事業に転換しようとしても市からの補助単価が低く継続は無理な状況だ。障がい者福祉プランの理念に逆行し過疎地域にはサービスの空白地帯ができていく。

答 送迎等できる事業所を紹介するなど対応していきたい。



榎川共同作業所(こここハウスどんぐり)があった榎川保健福祉センター